

# 東朽網

## 学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた  
人間性豊かな実践力のあ  
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)  
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)  
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)  
体力づくりに励み、健康でたくましい子ども

## 6年生 これからもがんばってね集会 3月1日(金)

「6年生に感謝の気持ちを伝えよう。気持ちよく中学校生活をスタートしてもらえる集会にしよう。」と、5年生が中心となって計画・準備・運営して、集会が行われました。各学年から、6年生にしてもらった事への感謝の気持ちと進級に向けての決意が語られました。6年生は、「願いのバトン」と手作りのカレンダーをプレゼントしました。そして、進級に向けての励ましのメッセージと歌と踊りで、体育館中が温かさとおしさに包まれた、素敵な集会でした。6年生が最上級生として1年間頑張ってきたこと(実績)の大きさに感心するとともに、5年生の「最上級生になり、学校をまとめ引っ張っていく。」という強い意志が伝わってきました。

**1年生**

すっかり大きく、たくましく成長した1年生が6年生をエスコートして入場しました。「6年生のことが、大大大大好きです。」とお世話になったことや助けてくれたことへの感謝の気持ちを伝えました。

**5年生**

元気のバトン

友情のバトン

**6年生**

感謝のバトン

希望のバトン

5年生は、休み時間に一緒にドッジボールをして、投げる球の凄さや運動会での組体操の演技がかっこよかったこと、800m走で学んだ努力の積み重ねの大切さなど思い出を振り返り、最上級生として学校をまとめ引っ張っていくことを誓いました。

**2年生**

毎朝登校班の班長として見守りながら登校してくれたことや休み時間一緒に遊んでくれたこと、九九を聞いてくれたこと、優しく声をかけてくれたことなどの感謝の気持ちを伝えました。

**3年生**

3年生は、いつもお手本として活動してくれた6年生へ、安心して登校することができたこと、戦争の怖ろしさと平和の大切さを教えてくれたこと、委員会活動で全校のために働いてくれたこと、クラブ活動見学で分かりやすく教えてくれたことなどの感謝の気持ちを伝えました。

**4年生**

4年生は、「1年生のときに優しく声をかけてくれたこと、掃除時間に廊下をいつもきれいに拭いていたこと、リーダーとして働く姿などを思い出すと淋しいです。でも、新しい6年生と一緒に、学校を支えられるように頑張ります。」と力強く決意を述べました。

**4年生**

4年生は、「1年生のときに優しく声をかけてくれたこと、掃除時間に廊下をいつもきれいに拭いていたこと、リーダーとして働く姿などを思い出すと淋しいです。でも、新しい6年生と一緒に、学校を支えられるように頑張ります。」と力強く決意を述べました。

**6年生の感想**

- ・6年生が入場するとき、1年生から魔法のネックレスをいただきました。とってもかわいくできていました。私の宝物です。学年の出し物では、みんなからの感謝の気持ちが伝わってきました。
- ・学年と先生方からの出し物は、とっても心がこもっていて、一つ一つの言葉に何度も泣きそうになりました。私たちは、とても愛されているということに気が付きました。これまで以上に、東朽網のみんなや先生のが大好きだと思いました。そして、「私は、東朽網小学校でよかった。」と思いました。心から幸せだと思いました。
- ・卒業プロジェクトチームで、「1年生から5年生の人たちに喜んでもらえたらいいね。」と話合い、みんなで練習に取り組みました。少ない練習時間だったけど、これだけの演技ができたのは、41人と先生の心が一つになって本気でやり遂げたからだと思います。短い練習時間でしたが、とても幸せな時間でした。
- ・1年生は、元気いっぱいみんなを笑わせてくれました。2年生は、たくさんのありがとうを伝えてくれてとてもうれしかったです。3年生は、今年から始めたリコーダーなのに、みんなでちゃんと揃った音色を聞かせてくれました。4年生は、今年から高学年になるという意志をもって感謝の気持ちを伝えてくれました。5年生は、今年から最上級生として頑張っていくという意志で感謝の気持ちを伝えてくれました。1年生から5年生までが、みんなで協力してとても楽しく素晴らしい集会にしてくれてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・6年生の出し物は、最初は少しはすかしかったし、難しい動きもあったけど、本番まで、たくさん練習して力を出し尽くすことができました。今回の集会は、本当に東朽網小学校の一人一人が全力を出して取り組んだ集会だったと思います。東朽網小学校の一人一人に感謝の気持ちをおくりたいと思います。
- ・1年生から5年生までの出し物を見て、とても感動しました。心をつにして私たちに一生懸命「ありがとう」を伝えてくれました。出し物が終わると泣いている子もいました。それだけ真剣に頑張ってくれたんだなあと思いました。こんなに素晴らしい会にしてくれた5年生に、感謝の気持ちでいっぱいです。本番で、一生懸命取り組んでいる姿を見て、とてもうれしかったです。私たちが中学校に行っても、もっとすてきな学校にしてください。



東朽網小学校では、13名の安全見守りスクールヘルパーさんと9名のブックヘルパーさん、7名の読み聞かせボランティア「おはなし広場」のみなさんが、いつも温かく優しく子ども達を見守り、学校の教育活動を支えてくださっています。

卒業を迎える6年生が、感謝の気持ちを込めてお礼のメッセージカードをお渡ししました。

最後の読み聞かせ

**お願い** 本校のスクールヘルパーさんは、北九州市内でこの制度が設けられたときからずっと長い間ご協力いただいています。午前と午後2人体制でお願いしていますが、人数が減り、お一人お一人の方にご負担をおかけしています。そこで、子どもたちの安全を見守っていただくスクールヘルパーさんを募集しています。ご都合のつく日にちで調整させていただきますので、ご協力をお願いいたします。可能な方は、教頭へご連絡ください。よろしく申し上げます。

## 親切の花をさかせよう 子どもたちの世界一短い感謝状 **6年生より**

### スクールヘルパーさんへ

いつも私たちのために、パトロールをしてくださってありがとうございます。ヘルパーさんたちのおかげで、事故やトラブルがないんだと思います。横断歩道では、旗を振ってくれるので、とても安全です。時々、待っているときに、「じゃんけん、ホイー！」と、じゃんけんをしてくれるので、おもしろいです。一年生のときからずっとヘルパーの仕事をしてくださってありがとうございます。一緒に家まで連れて帰ってくれましたね。ありがとうございます。スクールヘルパーさんたちのおかげで、安心して勉強ができました。

学校の安全のために、見守りや信号の所に立ってくださってありがとうございます。すっと見守り続けてくださってのおかげで、安心して授業が受けられました。授業中も校内や運動場を見回ってくださって、落ちていた物があったら拾ってくださったり、窓を開けたり閉めたりしてくださったおかげで、すごく助かりました。

### 登校を見守ってくださっている

#### 地域の方へ

六年間、毎日毎日優しい元気な声で、挨拶をしてくださったり、旗をもって安全を見守ってくださったりしてありがとうございます。下校のときは、「お帰り。」と声をかけてくれましたね。その一言でとても元気が出ました。みなさんのおかげで安全に登下校できました。これからも、優しい元気な声と暑い日も寒い日も変わらない素敵な笑顔をみんなに振りまいてください。

### ブックヘルパーさんへ

#### (図書室の環境整備・整理)

ブックヘルパーとして、図書室の飾りつけや本の修理・整理などをしてくださってありがとうございます。私は、図書委員会でよく図書室に行きますが、本棚はいつもきれいに整理されていて、電気や壁に季節に合わせた飾りをしてくださるので、とても楽しくなります。ありがとうございます。

### お話広場のみなさんへ

#### (火曜日の絵本の読み聞かせ)

絵本の読み聞かせをしてくださってありがとうございます。分かりやすく読んでくださるので、これまで以上に本が好きになりました。六年間ずっと絵本を読み聞かせてくださってありがとうございます。おかげで、本の楽しさが分かりました。読み聞かせの本を選ぶときも、私たちのことを考えてくださっていると知って、優しい方たちだなあといつも思っていました。これからも、ずっと続けてください。

### ひまわり学習塾の先生方へ

火曜日と木曜日、私たちに優しく丁寧に分からないところを教えてください。先生はいつも周りのことに気遣ってくださるので、とても助かりました。私は、ひまわり塾のおかげで、少し勉強が好きになりました。それは、分かりやすく説明してくださる先生方がいてくださるからだと思います。

## 6年生 朝のランニング ~800m走~ 総距離 76.8 km

4月から、毎朝「努力は全力だからこそ 実っていく。努力の記録は宝物になる。後悔は、しっかりと次の糧にする。」ことを常に念頭において実行した800m走がゴールを迎えようとしています。2学期からは5年生も参加し、あきらめずに努力することの大切さを下級生に行動で見せてくれました。



- 陸上記録会まで一生懸命走り続けてきた800m走を、記録会が終わったことで、気を抜いてしまうことが増えてしまったことを後悔しています。私は、最後まで全力で走り続け、弱い自分の心に打ち勝って、笑顔で卒業したいです。
- 今、私は後悔の気持ちが大きいです。本気で走ったつもりでも、心の中でもやややすることが何回かあった。それは、自分の力をみくびっていたからだと今更気付いた。自分の限界を定めて、それだけの力しか出せていなかった。でも、何も考えずに全力で走り切ったあとは、達成感や楽しさに満ち溢れていた。タイムがよくなっていくのもうれしかった。
- つらい時もあったし、楽しい時もあった。だけど、頑張ってきたので、体力が付き、努力することができた。「努力することで、人を知り、人と共に歩む。人のためにつくせる人になりたい。」そう思いながら走っていました。